



# NAWS みらいプラン

経営戦略計画 令和8年度～令和10年度

## 概要版

### 経営理念

ライフラインである上下水道事業の一翼を担うソーシャルカンパニーとして、社会的課題の解決と営利企業の融合を目指します。

### 経営戦略方針

これまで培ってきた上下水道に関するノウハウをさらに高め、安定的な事業運営の推進により信頼を獲得し、上下水道を取り巻く課題の解決に貢献することを目的として、補完・代行機能をより強化しながら、名古屋市域外へも積極的な事業展開を図っていきます。

### 計画策定の考え方

経営理念のもと、経営戦略方針、経営戦略目標を実現するため、名古屋市が策定した「外郭団体のあり方」における4つの戦略基軸に対応した具体的な事業実施計画として経営戦略計画を策定する。

- ①公共サービスの充実
- ②人材力・現場力の強化
- ③財務内容の改善・向上
- ④効率性の発揮と成果

(本計画では上記4つの戦略基軸のうち、③財務内容の改善・向上と④効率性の発揮と成果を1つの戦略基軸としてまとめる)

また、前計画期間における取り組み結果を踏まえ、事業の現状と課題を整理したうえ、本計画における取り組み及び成果指標を決定し、決定した取り組みを着実に進めていくものとする。



名古屋上下水道総合サービス株式会社

## 公共サービスの充実

経営戦略目標①	これまで培ってきた上下水道事業に関する知識・技術・経験に加え、デジタル技術も活用し、サービスのさらなる向上を図る。			
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顕在化する人材不足などの課題解決に向け、培った知識・技術・経験を活かして人材と体制を整備し支援を推進する。</li> <li>・水道メータの検針に関するお客さまアンケート結果を業務へ反映し、サービス向上を図る。</li> <li>・デジタル技術の最新動向を把握し、イベントや説明会で得た知見を事業に効果的に活用する。</li> <li>・デジタル技術を活用した受託業務の改善や新たな業務スキームなど、上下水道事業体等のニーズに即した実効性の高い提案を積極的に行う。</li> </ul>			
成果指標	項目	R8	R9	R10
	検針部門におけるお客さま満足度	90%以上	90%以上	90%以上
	デジタル技術を活用した業務改善提案	3件	3件	3件

経営戦略目標②	局や近隣上下水道事業体等が抱える課題を広範に把握し、その解決に向けた取り組みに寄与する。			
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受託業務や営業活動を通じて課題を広範に把握し、ニーズに応じた具体的な解決策を提案する。</li> </ul>			
成果指標	項目	R8	R9	R10
	近隣上下水道事業体等が抱える課題とニーズを把握するための訪問	50ヶ所以上	50ヶ所以上	50ヶ所以上

経営戦略目標③	災害支援の経験を踏まえ、災害発生時に局や近隣上下水道事業体等からの応援要請に迅速かつ適切に応じられるよう災害対応力を強化する。			
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設給水栓設置や給水車操作などの応急活動訓練を実施し、災害対応力を強化する。</li> <li>・災害協定に基づき、人員派遣や給水車による応急対策などに協力するとともに、合同の防災訓練参加などを通じて迅速な対応と連携体制の強化を図る。</li> <li>・防災訓練や災害支援で得た教訓を検証・整理し、災害対策要綱やBCPに反映して対応力の強化と支援活動の迅速化・効率化を進める。</li> </ul>			
成果指標	項目	R8	R9	R10
	災害対応力強化に関する訓練や研修	12回以上	12回以上	12回以上

経営戦略目標④	SDGsの推進に積極的に取り組む。			
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯や子供のキャリア教育支援活動などに協力する。</li> <li>・環境に配慮した取り組みを自主的に実施する。</li> <li>・SDGsへの意識向上のため社内研修を実施する。</li> <li>・水道メータの検針時における漏水の早期発見により節水に寄与する。</li> </ul>			
成果指標	項目	R8	R9	R10
	社屋（本社）周辺の清掃活動	200日以上	200日以上	200日以上

## 人材力・現場力の強化

経営戦略目標①	業務に必要な人材を計画的に確保・育成するとともに、実効性のある人材育成により、社員のスキル向上と技術継承を着実に進める。			
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務マニュアルや作業動画を作成し、技術・技能や業務ノウハウを誰もが理解・再現できる形で次世代へ継承する。</li> <li>必要な資格の計画的な取得を推進し、社員の資格取得率の向上を図る。</li> <li>効果的な採用活動を行い、業務に必要な人員の確保に努める。</li> <li>人材育成計画に基づき、OJT と OFF-JT を各部署が主体的に取り組み、人材育成を計画的に進め、組織の持続的成長と競争力強化を図る。</li> </ul>			
成果指標	項目	R8	R9	R10
	業務に必要な資格の取得(給水装置工事主任技術者・排水設備工事責任技術者)	4名	4名	4名

経営戦略目標②	風通しの良い職場環境の構築により組織の活性化を図る。			
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>会議や面談を通じ、自由な意見交換と情報共有を促進する環境を整える。</li> <li>業務改善や創意工夫の提案を表彰し、社員の士気の向上を図る。</li> <li>メンタルヘルス研修の受講などにより社員の心の健康の保持増進を図る。</li> <li>社内研修や社内報の活用により部間交流を促進し、組織の活性化を図る。</li> </ul>			
成果指標	項目	R8	R9	R10
	業務改善に係る報告及び提案	10件以上	10件以上	10件以上
	ラインケア研修の実施	管理職全社員		

経営戦略目標③	安全管理の徹底と安全意識の向上により労働災害の根絶を目指す。			
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全巡視やKYT、ヒヤリハット事例などの共有により安全意識を高め、リスクアセスメントと重大事故の振り返りを行い、事故発生を抑制する。</li> <li>安全に資する機材を積極的に導入し、安全リスクを低減を図る。</li> <li>社外講師の研修や社内での安全教育により、社員の安全意識向上を図る。</li> <li>当社に過失のある交通事故発生件数を、前年度比で削減することを目指す。</li> </ul>			
成果指標	項目	R8	R9	R10
	社外講師による安全運転・安全管理研修	1回以上	1回以上	1回以上
	休業を伴う災害事故ゼロを達成	0件	0件	0件

経営戦略目標④	適正な事務処理や情報管理、コンプライアンスの徹底などによりガバナンス強化を図る。			
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務や情報管理に関するマニュアルを遵守・徹底し、資料持ち出し時の情報散逸・流出リスクを最小限に抑えるための管理措置の徹底を図る。</li> <li>施設維持管理に必要な環境関連法規等の研修を通じて知識を習得する。</li> <li>事務処理および情報管理の社内監査で指摘ゼロを目指す。</li> <li>各種ハラスメントに関する対応を強化する。</li> <li>情報資産管理システムを活用し、PC や外部記録媒体などの情報資産を適切に管理する。</li> </ul>			

## 財務内容の改善・向上、効率性の発揮と成果

経営戦略目標①	収支の健全性を維持し、安定的な経営基盤を確立する。			
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務領域拡大と業務受託先との関係強化で経営基盤の安定を図る。</li> <li>・営業活動や業務提案を通じて、新規業務の獲得を目指す。</li> <li>・業務改善を通じて、ムリ・ムダ・ムラを排除し、コスト意識を持って収支の健全性と業務の質・生産性の向上を図る。</li> </ul>			
成果指標	項目	R8	R9	R10
	目標売上高	41億円	42億円	42億円
	目標利益	6百万円	45百万円	35百万円
	新規・拡充業務の獲得	5件以上	5件以上	5件以上

経営戦略目標②	ICT ツールやデジタル技術を活用し、業務の効率化を図る。			
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT ツールを活用して定型業務を効率化・自動化を図り、事務・現場作業の生産性を高める。</li> </ul>			
成果指標	項目	R8	R9	R10
	ICT ツール等による、業務効率化	3件以上	3件以上	3件以上

経営戦略目標③	環境の変化に対応できる柔軟な業務実施体制の構築を図る。			
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識・技術を積極的に共有し、不測の事態にも柔軟に対応できるよう組織間連携を強化する。</li> </ul>			

### 計画の進行管理

- 計画の進行管理を全社的に行うため、役員及び各部門の社員で構成する「経営戦略計画運営委員会」を毎年度開催し、本計画に定めた「個々の取り組み」及び「成果指標」の達成状況を確認し、自己評価を行う。
- 「経営戦略計画運営委員会」開催後は、「個々の取り組み」及び「成果指標」の達成状況について監査役から評価を受け、翌年度以降の目標達成に向けた取り組みに反映させる。
- 外部環境の変化により取り組みに変更が必要となった場合は、計画の見直しを行うなど適切に進行を管理する。